

第3回 使えるセンサ・シンポジウム 2021



大阪・関西万博の開催に向けて

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
経営企画室長 岩田 泰
2021年7月20日

世界中の人々が参加する国家プロジェクト 〔人類共通の課題を解決する場〕

《20世紀まで》

国威発揚や殖産興業
（産業見本市的）が中心

総会決議
B I E

1994年

人類共通の課題の
解決策を提示の

《21世紀から》

地球的課題と人類社会の持
続的な発展がテーマの中心に

ロンドン万国博覧会（1851年）

※世界初の万博

パリ万国博覧会（1867年）

※徳川幕府と鍋島・薩摩両藩が日本より
初出展

日本万国博覧会（1970年）

※大阪で日本初開催

沖縄海洋博（1975年）

大阪園芸博（1990年）など

愛・地球博（2005年）

上海国際博覧会（2010年）

ミラノ国際博覧会（2015年）

**ドバイ万博
（2021年予定）
など**



ミラノ国際博覧会日本館

国際博覧会条約に基づく2種類の国際博覧会

登録博覧会

【大規模博覧会】

- ・5年に1回開催
- ・期間は6か月以内
- ・面積要件なし



＜国内開催実績＞旧 一般博

- ・大阪万博（1970）
- ・愛知万博（2005）



認定博覧会

【小規模博覧会】

- ・2回の登録博の間に1回開催
- ・期間は3か月以内
- ・25ha以内



＜国内開催実績＞旧特別博

- ・沖縄国際海洋博覧会(1975)
- ・国際科学技術博覧会（1985）
- ・国際花と緑の博覧会（1990）

2025年に日本が開催するのは大規模な「登録博覧会」

70年万博がきっかけで生まれたもの、広がったもの

■ウルトラソニック・バス (人間洗濯機)



■ファーストフード ケンタッキーフライドチキン (日本初上陸)



■電気自動車 (国内における初の試み)



■動く歩道 (万博を契機に全国的に認知)



■ワイアレステレホン (携帯無線電話機)



【その他】ファミリーレストラン、缶コーヒー、フランスパン、ブルガリアヨーグルト、空気膜構造、電動自転車、テレビ電話、民間警備会社、カプセルホテル、左側通行、地域冷房システム、メタボリズム、ピクトグラム（サイン計画）など

(出典：「EXPO'70パビリオン大阪万博公式メモリアルガイド」)

▶役員 (2021年7月1日時点／敬称略)

会長 事務総長 副会長	(代表理事)	十倉 雅和	一般社団法人日本経済団体連合会会長
	(代表理事)	石毛 博行	前独立行政法人日本貿易振興機構理事長
	(理事)	松本 正義	公益社団法人関西経済連合会会長
理事		尾崎 裕	関西商工会議所連合会会長、大阪商工会議所会頭
		古市 健	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
		塚本 能交	京都商工会議所会頭
		家次 恒	神戸商工会議所会頭
		三村 明夫	日本商工会議所会頭
		櫻田 謙悟	公益社団法人経済同友会代表幹事
		吉村 洋文	大阪府知事
		松井 一郎	大阪市長
		仁坂 吉伸	関西広域連合長
		國部 毅	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会財務委員会委員長
		寺田 千代乃	アートコーポレーション株式会社名誉会長
		高橋 政代	株式会社ビジョンケア 代表取締役社長
副事務総長	(理事)	池坊 専好	華道家元池坊 次期家元、一般財団法人池坊華道会副理事長
		前田 泰宏	前中小企業庁長官
		竹内 廣行	前大阪府副知事
		櫛 真夏	前公益財団法人関西経済連合会常務理事

【事務局組織図】

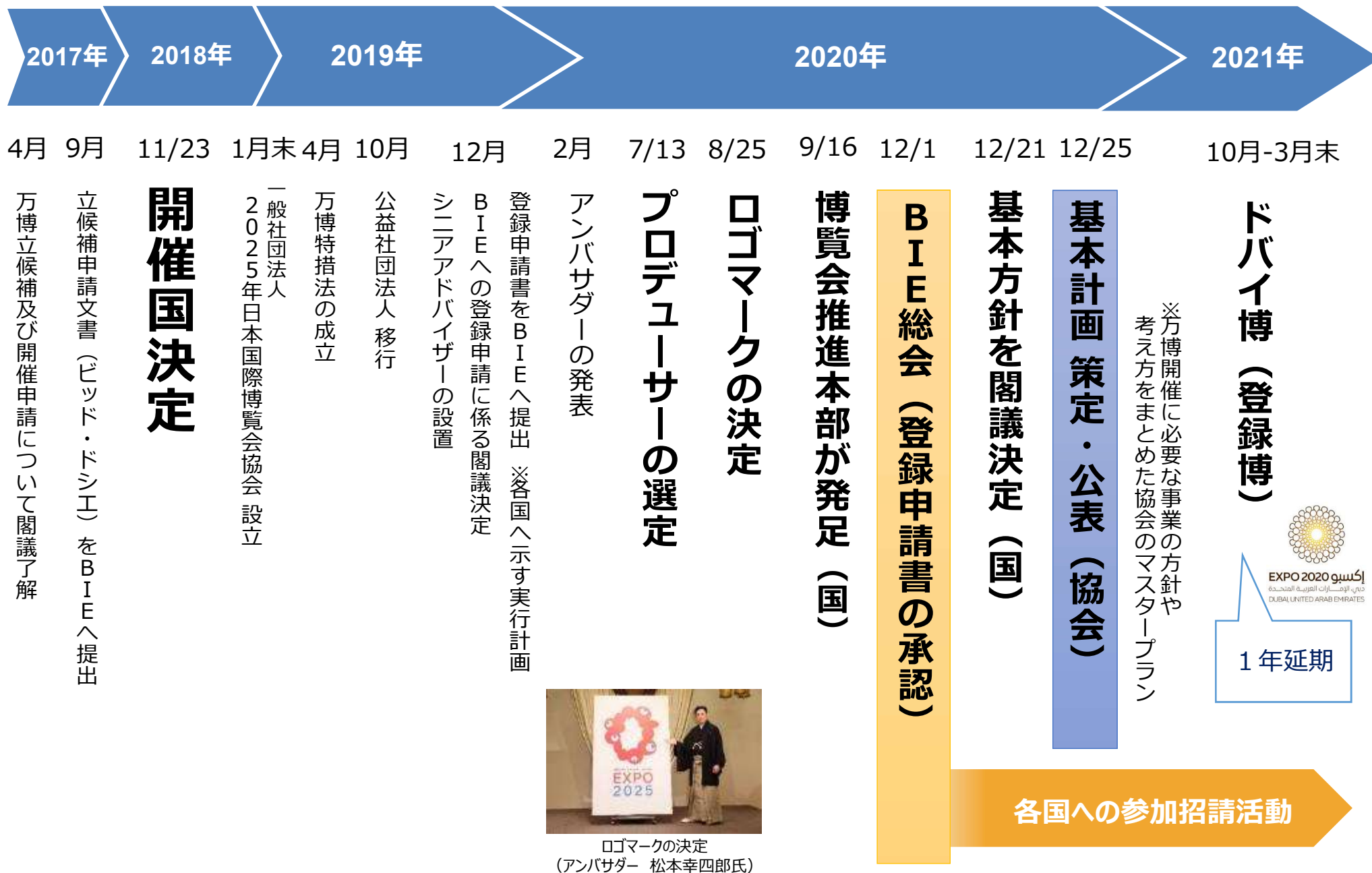


- 人員：国・大阪府・大阪市・関西広域連合構成府県市・経済界等より職員を派遣（約270名）

万博会場（夢洲） 航空写真



万博の進捗とスケジュール ～これまでの取り組み～



名称	2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab （未来社会の実験場）
会場	夢洲（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日（日）－10月13日（月）
想定入場者数	約2,820万人

※計画日來場者数 28.5万人/日（開催期間のうち上位10%の予測平均来場者数）

テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」

一人ひとりが自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、世界が共創（Co-Creation）していくことを推進。

いのち、生きる、生き抜く



写真:ジョイアHPより



「いのち」の誕生から38億年

- 2025年は、SDGsの目標年である2030年の5年前
- SDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会
- 2030年のSDGs達成にとどまらず、+ beyond(2030年より先)
に向けた目標が示されることが期待される

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



テーマの実現に向けて

- 万博の目的であるテーマの実現に向けて、事業のガイドラインであるPeople's Living Lab（未来社会の実験場）というコンセプトのもと、「世界との共創」「テーマ実践」「未来社会ショーケース」の3つを実施する。

意義

- ・ いのち輝く未来社会へ
- ・ SDGs達成・SDGs+beyondへの飛躍の機会
- ・ Society5.0実現に向けた実証の機会
- ・ 日本の飛躍の契機に

目的

[テーマ]

- ・ いのち輝く未来社会のデザイン
(Designing Future Society for Our Lives)

[サブテーマ]

- ・ Saving Lives（いのちを救う）
- ・ Empowering Lives（いのちに力を与える）
- ・ Connecting Lives（いのちをつなぐ）

手段（何をやるのか）

[事業コンセプト] People's Living Lab（未来社会の実験場）

世界との共創

公式参加
パビリオン

公式行事

テーマ実践

テーマ事業

「TEAM EXPO
2025」プログラム
.....
テーマフォーラム

日本館

自治体等の出展

民間パビリオン

催事

未来社会ショーケース

未来社会
ショーケース
事業

バーチャル万博

- 1 海と空を感じられる会場
- 2 世界中の「いのち輝く未来」が集う万博
- 3 未来の技術と社会システムが見える万博
- 4 本格的なエンターテインメントを楽しめる万博
- 5 快適、安全安心、持続可能性に取り組む万博



特徴 1 海と空を感じられる会場

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。



会場デザイン ～理念・機能性・特別な体験の3つを連動～

- 世界へ発信する「理念」、求められる「機能性」、万博ならではの「特別な体験」の3つを連動。
- 誘致の時から「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



世界へ発信する

理念

「非中心・離散」+「つながり」
多様でありながら、ひとつを象徴する会場

求められる

機能性

- ・ 動線の分かり易さ、
 - ・ 迷わない、
 - ・ 避難しやすい、
 - ・ それでいて多様な体験、
 - ・ 陽射しから守る
 - ・ 雨から守る、
 - ・ 各施設のバランスの良い配置
- ・ モジュール化による効率化
 - ・ 混雑の緩和
 - ・ 各パビリオンの平等な扱い
 - ・ 護岸船の先の海を見る
 - ・ 海の広場を含む多様な広場の配置
 - ・ 会場を俯瞰する視点
- など

万博ならではの
特別な体験

会場デザインプロデューサー
藤本壮介

※敬称略



©David Vintiner

海と空と地の万博

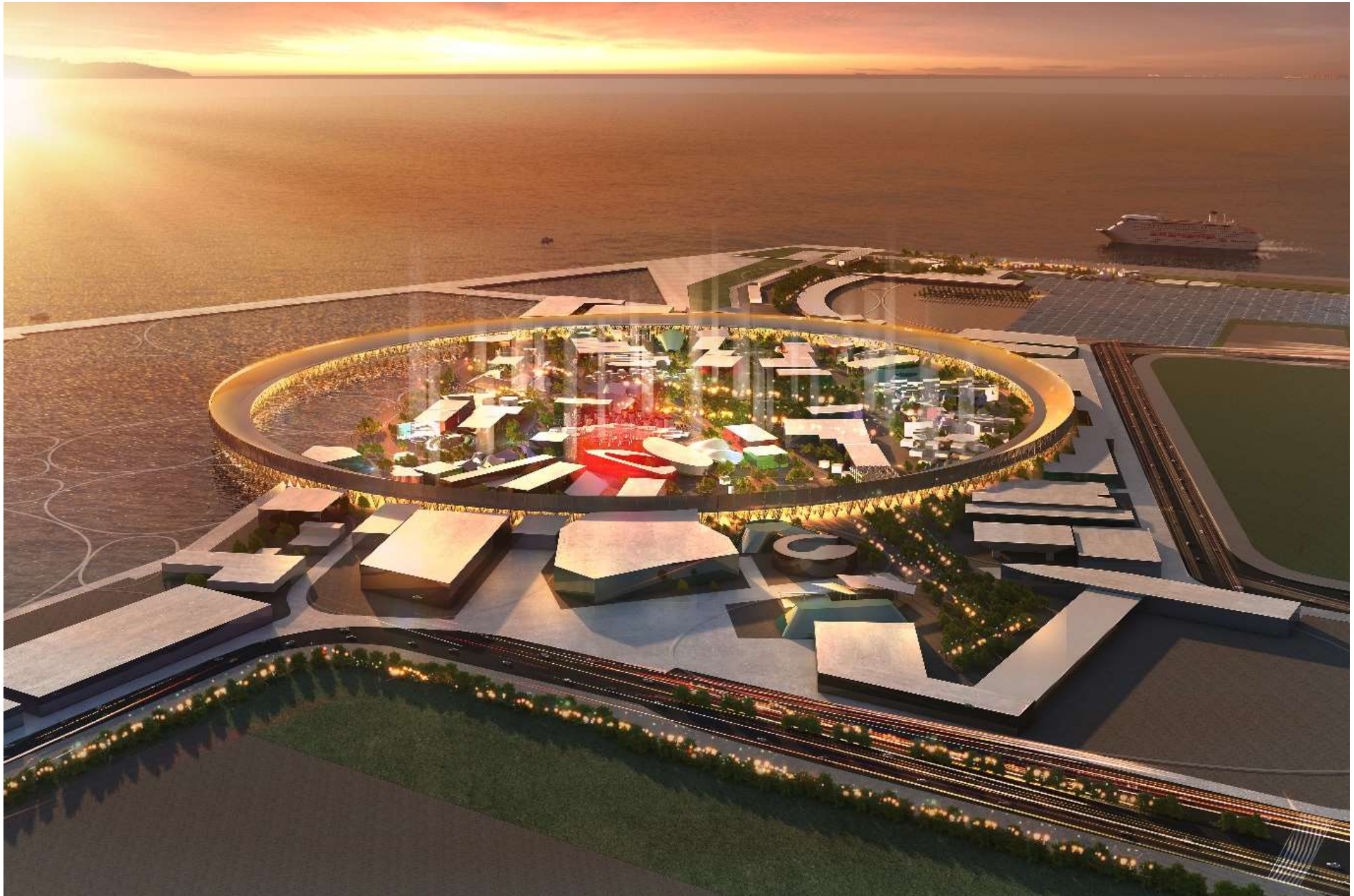
○ひとつの大屋根（リング）

主動線であり、人々を日差しから守る屋根でもあり、すべてのパビリオンが大屋根（リング）につながっている



1 9 7 0 から 2 0 2 5 へ

会場デザイン ～瀬戸内海に沈む夕陽を臨む会場～



会場デザイン ～3つのエリア～

- 万博会場はパビリオンワールド、グリーンワールド、ウォーターワールドの3つのエリアで構成する。



グリーンワールド

- ・会場の西側の海に面した緑地エリア。
- ・屋外イベント広場や交通ターミナル、エンタランス広場等、大人数が滞留することのできる開けた空間とする。




パビリオンワールド

- ・パビリオン等の施設が集まるにぎわいのエリア。主動線としてリング状のメインストリートと離散的に大小の広場を設け、ここからすべてのパビリオンにアクセスできる。
- ・メインストリートの上部には大屋根（リング）を設置。
- ・メインストリートから離れた位置に樹木を配した広場（静けさの森）を作り、これにつながるようテーマ館が配置される。

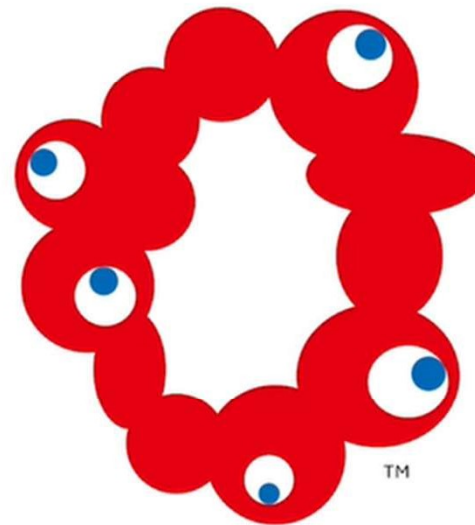
ウォーターワールド

- ・水景を活用した憩いのエリア。水辺に面して飲食施設を配置するとともに、水上イベントの舞台としても活用。

- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を選択	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例		SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組む
	個人の取組、自分自身の意識改革、啓発による気づき	コミュニティ、企業、政府、国、社会等による取組	
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食と生活 等	ライフサイエンス、労働環境の改善、貧困問題の解決、児童死亡率の低減 等	
Empowering Lives (いのちに力を与える)	自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び 等	遠隔教育、ライフ・ワークスタイル、産業高度化、エンジェル投資 等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を意識した行動、気候変動への適応 等	オンラインプラットフォーム、クラウド・ファンディング 等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す



OSAKA, KANSAI, JAPAN

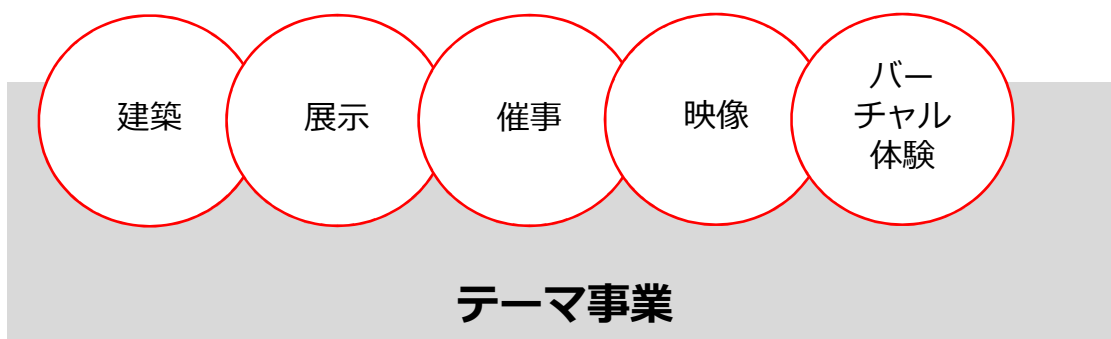
EXPO
2025

特徴 2 世界中の「いのち輝く未来」が集う万博

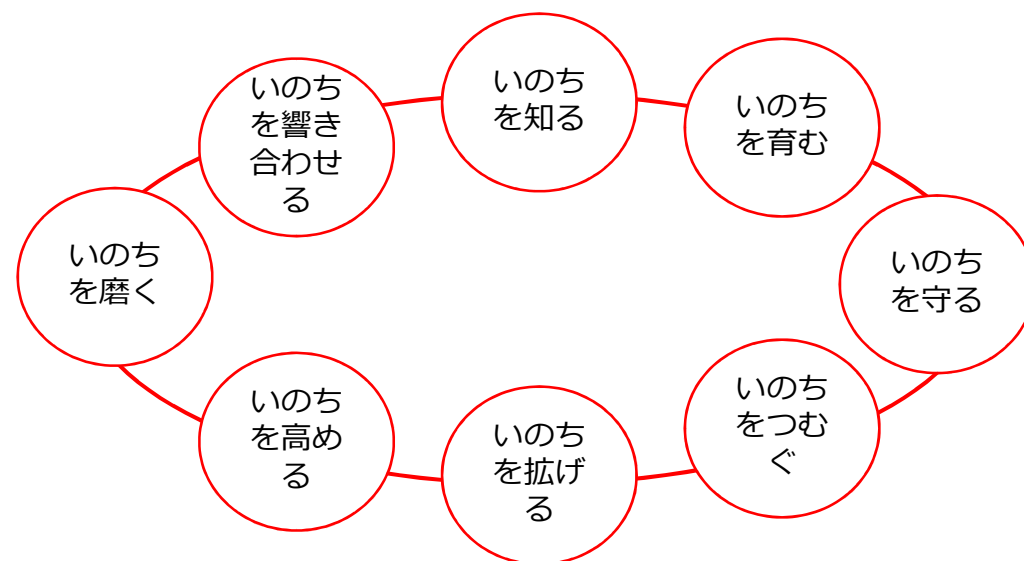
大阪・関西万博では、150の国と25の国際機関をはじめ、企業やNGO/NPO、市民団体等が、世界中から「いのち輝く未来社会」への取り組みを持ち寄り、SDGsの達成とその先の未来を描き出していく。そのための具体的な取り組みとして、各界のトップランナー8人が自ら創り上げるテーマ事業や、会期前から会期後までを通して行うベストプラクティスの共創事業「TEAM EXPO 2025」プログラムなどを実施する。

テーマ事業の基本方針

多彩な手法を組み合わせたテーマ表現



独立と連携の両立



- 地球的課題の解決において創造力は極めて重要であり、創造力を活かすことのできる社会の未来像を示すために、テーマ事業は、創造力を主体とした事業構築手法（クリエイティブ・ドリブン）によって進める。



「いのちを知る」

福岡 伸一

生物学者、青山学院大学教授



- 生命系全体の中にある私たちのいのちの在り方を確認する。



「いのちを育む」

河森 正治

アニメーション監督、
メカニックデザイナー



- 宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを感じ、共に守り育てる。



©LESLIE KEE

「いのちを守る」

河瀬 直美

映画監督



- 危機に瀕し、人類は「分断」を経験する。「わたし」の中の「あなた」を認めるいとなみの行方に、多様ないのちが、それぞれに、護られてゆく未来を描く。



「いのちをつむぐ」

小山 薫堂

放送作家、脚本家



- 自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。



「いのちを拡げる」

石黒 浩

大阪大学教授、
ATR石黒特別研究所客員所長

- 新たな科学技術で人や生物の機能や能力を拡張し、いのちを広げる可能性を探求する。



「いのちを高める」

中島 さち子

音楽家、数学者、STEAM教育家

- 遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。



「いのちを磨く」

落合 陽一

メディアアーティスト

©蜷川実花

- 自然と人工物、フィジカルとバーチャルの融和により、自然と調和する芸術の形を追求し、新たな未来の輝きを求める。



「いのちを響き合わせる」

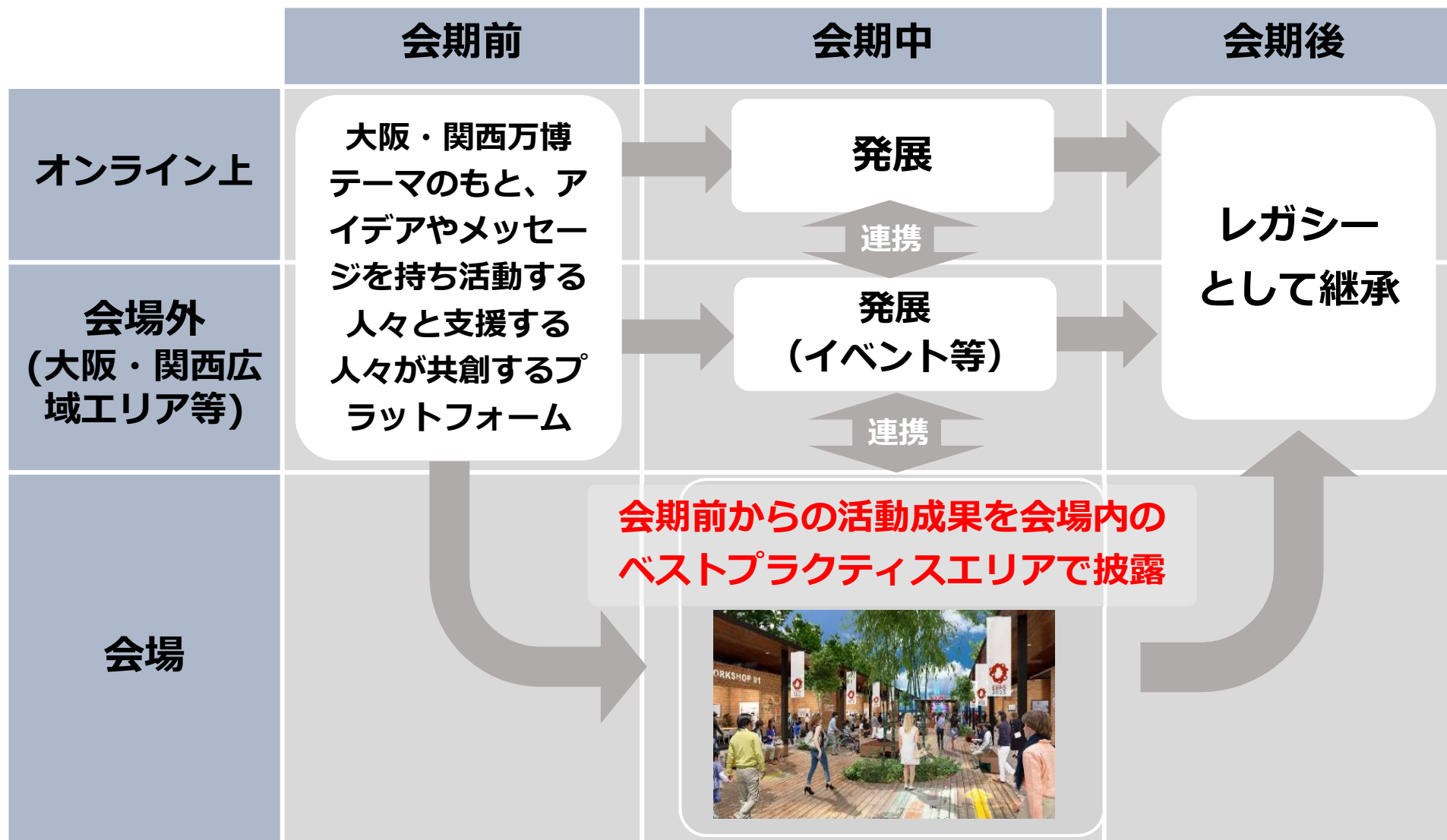
宮田 裕章

慶応義塾大学教授

- 個性あるいのちといのちを響き合わせ、「共鳴するいのち」を共に体験する中で、一人ひとりが輝くことのできる世界の模式図を描く。

「TEAM EXPO 2025」プログラム①

- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す取組を推進する。



「TEAM EXPO 2025」プログラム② ～具体的活動例～



共創チャレンジ

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

(活動例)

- 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動



共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体



人の支援



資金の支援



場・ものの支援



情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、大学、国・自治体、社会起業家等

キーワード

SDGs Society5.0

共創（Co-Creation）

多様なセクターの参加

特徴3 未来の技術と社会システムが見える万博

- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、幅広い参加を呼びかけながら、イノベーティブなアイデアを会場で実装していくための取組を展開する。
- 事業の実施にあたっては、大阪・関西万博の事業費に加え、政府等の支援、民間企業の協賛等の協力を得て行う。

未来社会ショーケース事業



● 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、現在検討を進めている具体的事業の例

カーボンニュートラル



画像 : Adobe Stock

- ・カーボンニュートラル、エネルギーを最適化する技術、水素エネルギー技術のショーケースとしての導入

デジタル



画像 : Adobe Stock

- ・リアルとバーチャルを融合した未来のエンターテインメントの実現
- ・デジタル技術を活用した入場制度、来場者サービスの実施

モビリティ



- ・次世代モビリティとしての利活用が期待される空飛ぶクルマにより来場者に新たな移動体験を提供

今後、これらの事業を実現する具体的アイデア等を募りながら、
「Society 5.0実現型会場」の実装を目指す

- 大阪・関西万博では、バーチャル技術を活用し、万博の魅力と発信力を高める「バーチャル万博」を行う。

	万博会場で行うプログラム (会期中実施)	万博会場とは別のプログラム (会期前から実施)
万博会場 (来場者向け)	会場内の展示や催事、 運営サービスをバーチャル技術 を用いて高度化	
オンライン空間 (オンライン参加 者向け)	会場外からアバターで 参加可能な万博会場を オンライン空間上に展開	会場の内容とは別の プログラムを オンライン空間上で展開

バーチャル万博② ～EXPO PLL Talks～

- サイバー万博（仮）の検討をEXPO PLL Talksで開始。
- 第一回EXPO PLL Talksでは、新しい万博の価値に関する対話を深めていくと同時に、サイバーを活用した万博の可能性や、今回の万博に秘められる新しい価値について議論することを目的に、PLLクリエイター齋藤精一氏をファシリテーターとし、大阪・関西万博のプロデューサーの方々との対談を実施。

主催：経済産業省、(公社)2025年日本国際博覧会協会
Organizer: Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), Japan Association for the 2025 World Exposition

EXPO PLL Talks #001

新しい万博の価値
Exploring New Role of EXPO

サイバー万博の可能性
Potential of Cyber EXPO

4/7 wed. 18:00-19:00

参加費：無料
Participation fee: Free

参加方法：参加登録不要。時間になりましたら以下URLにアクセスしてください。
No reservation required. Please access to the following URL

日本語 <https://youtu.be/uRv09j-IDVlk>
English <https://youtu.be/Oj4Or0nUJlk>

齋藤 精一 氏
パノラマティクス 主宰
PLLクリエイター
PLL Designer
SAITO Seichi

河瀬 直美 氏
映画監督
テーマ事業プロデューサー
Theme Producer
Filmmaker
KAWASE Naomi

藤本 壮介 氏
建築家
会場デザインプロデューサー
Site Design Producer
Expo Site Design Producer
FUJIMOTO Sou

宮田 裕章 氏
慶応義塾大学 医学部教授
テーマ事業プロデューサー
Theme Producer
Professor, Keio University
MIYATA Hiroaki

これまでのEXPO PLL Talksのアーカイブはこちらの協会ホームページからご覧いただけます。

以降の情報もこちらのページに掲載します。

https://www.expo2025.or.jp/overview/expo_pll_talks/

ぜひご覧ください！

QRコードはこちら↓



第一回EXPO PLL Talks「新しい万博の価値 —サイバー万博の可能性—」リーフレット

特徴 4 本格的なエンターテインメントを楽しめる万博

- 会場内の施設や通路を用いた水上ショーやプロジェクションマッピング、大小様々なステージで行う音楽や芸能などの催事、伝統芸能やポップカルチャーなどの展示体験催事、全国各地の祭りやパレードなど

主催者催事

主催者が協賛企業等と共に行う催事

劇場催事

音楽

演劇

芸能

未来型エンターテインメント

テーマ
フォーラム

広場催事

ステージ催事

映像

パレード/祭り

環境演出催事

ウォーター
ワールドの
水上ショー

プロジェク
ションマッ
ピング

アート
プログラム

展示体験催事

メッセ
展示会

ギャラリー
展示会

伝統文化
展示会

参加催事

文化団体や自治体等の参加により行う催事



ウォーターワールドの水上ショー



屋外イベント広場

特徴 5 快適、安全安心、持続可能性に取り組む万博

- 電子チケットを活用した、**入場事前予約制度**や**パビリオン予約制度**の導入を検討
- **感染症対策**や**防災対策**、**サイバーセキュリティ対策**による安全安心の実現、
持続可能性に配慮した運営に取り組む

「平準化」への取り組み

入場できる期間や時間帯
を限定した入場券の設定

入場事前予約制度

電子チケットの導入

パビリオン予約制度

「安心安全」への取り組み

感染症対策

防災対策

リスク対策

情報セキュリティ対策

「持続可能性」への取り組み

サステナブルな万博運営

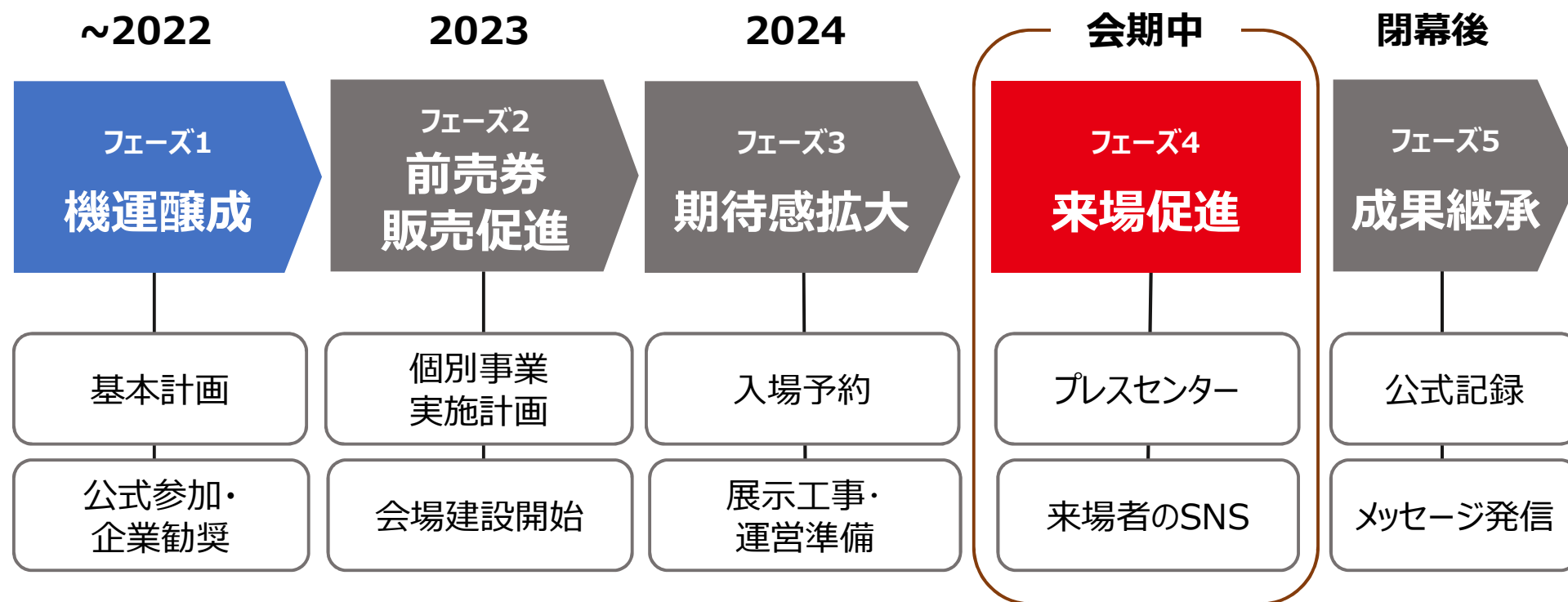
インクルーシブな万博運営



会場運営プロデューサー

石川 勝
(プランナー、プロデューサー)

- 国内外の様々な人々、国・自治体・企業・団体等の多様なステークホルダーに、
①大阪・関西万博への興味や関心を持ち、②参加意欲を高めてもらい、③万博会場への出展、来場へと繋げていき、そして、④会期前及び会期中に創出されたレガシーを伝え、後世に継承していくため、広報・プロモーション活動を実施していく。



- 基本計画に基づき、以下のような各分野ごとの計画を、2021年から1～2年かけて策定していく。

催事計画

劇場催事、広場等での祭り・パレード、光と映像を駆使した環境演出催事、メッセやギャラリー等での展示体験催事や未来型のエンターテインメントを行う。

入場制度

開会2年程度前から入場券販売開始を検討する。平準化を目的とした入場券の設定や、入場事前予約制度、電子チケット、パビリオン予約制度の導入を検討する。

営業活動

飲食施設においてはSDGsの目標としても掲げられている食品ロスの削減や、多様な来場者に適応したサービス等の導入、混雑日対応も考慮した施設構成とする。

防災・セキュリティ

会場内での災害を未然に防止し、万一災害が発生した場合には消防活動や避難誘導を円滑に行い、被害を最小限に抑えるための措置を講じる。

情報通信

情報セキュリティを確保し、安全で安心な万博の運営を実現する。万博参加体験を通じて得た情報はビッグデータとして管理、社会に還元する。

輸送

想定来場者数2,820万人の円滑な来場を実現するために、鉄道・道路・空路・海路等の既存交通インフラを最大限活用したアクセス手段を計画する。

持続可能性に

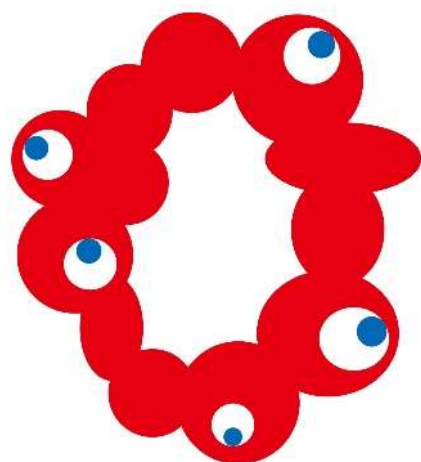
配慮した運営

脱炭素社会の構築等に向け、温室効果ガスの排出抑制、リサイクル・リユース・リサイクル（3R）などに取り組む。

リスク管理

早期からリスクを洗い出し、顕在化を抑制する。ドバイ万博、東京2020オリンピック・パラリンピック等大規模イベントでの感染症対策を参考に必要な対策を講じる。

最優秀作品



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

グループ名：TEAM INARI(チーム イナリ)
作者(代表者)：シマダ タモツ
(アートディレクター/グラフィックデザイナー)

70年大阪万博
ロゴマーク



コンセプト

踊っている。跳ねている。弾んでいる。だから生きている。大阪・関西万博。1970 年のデザインエレメントをDNA として宿したCELL たちが、2025 年の夢洲でこれからの未来を共創する。

関西とも、大阪府ともとれるフォルムを囲んだメインシンボルだけでなく、CELL たちは、文字や数字を描きだし、キャラクターとしてコミュニケーションする。自由に。有機的に。発展的に。いのちの輝きを表現していく。

- 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置

(五十音順・敬称略)



安藤 忠雄
建築家

photo by 関野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホール
ディングス株式会
社代表取締役会長



桂 文枝
落語家



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



ロバート キャンベル
早稲田大学特命教授



コシノ ジュンコ
デザイナー



五神 真
東京大学大学院
理学系研究科
教授



ウスビ・サコ
京都精華大学学長



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家



山極 壽一
総合地球環境学
研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

- “大阪・関西万博の顔”として万博の魅力を伝える

「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」を発表 (2020年2月)

(五十音順・敬称略)

コブクロ (ミュージシャン)



佐渡 裕 (指揮者)



ダウントウン (タレント)



宝塚歌劇団 (エンターテインメント)



松本 幸四郎 (歌舞伎役者)



山中 伸弥 (京都大学
iPS細胞研究所所長・教授)



企業・団体等の参加① ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展

(敷地渡し方式)

建ぺい率70%以下(原則) 高さ制限12m以下程度

敷地面積約3,500㎡(9区画程度)

一部を共同館とする場合も想定

テーマ事業協賛

主催者が企画するテーマ事業に協賛社として参加

資金協賛

設備・サービス提供

未来社会ショーケース事業参加

企業・団体が持つ先端技術やシステムを用いて、
会場内での実証や実装を行う

先端技術・システムの提供・運用

「TEAM EXPO 2025」プログラム参加

会期前より2025年に向けてテーマの実現を
目指して共創する取組への参加及び協賛

テーマ実現に向けた活動の創出・支援

資金協賛

催事参加

主催者催事への協賛又は
参加催事の持ち込み

資金協賛

催事プログラムの持ち込み

営業参加

物販・飲食・サービスによる参加

会場内営業施設出店

ライセンスビジネス参加

その他

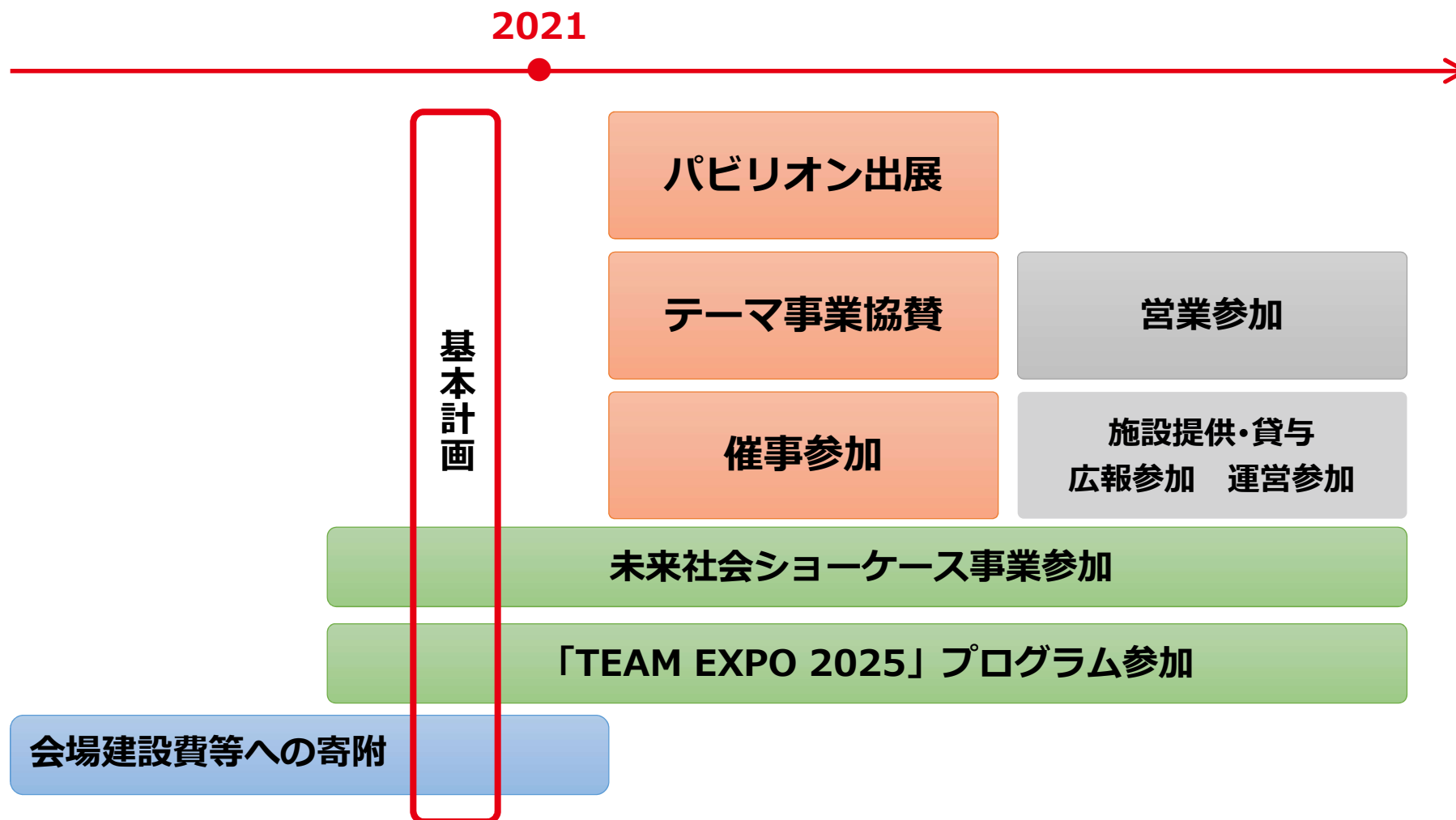
会場建設費等への寄付

施設提供・貸与

広報参加

運営参加

企業・団体等の参加② ～今後の予定～



万博の進捗とスケジュール ～今後のスケジュール～

「基本計画」に基づき、各国への参加招請活動と企業等への参加招請活動を展開し、参加と共創を促進するとともに、各分野毎に詳細な計画を1～2年かけて作るフェーズへ入っていく。



国家事業である万博は、東京オリパラの実証・実装実験、愛知万博「自然の叡智」を引き継ぐもの

各国VIP等が訪れ、各国・企業とのつながりを強化する場
日本ブランドを売り込む大いなる機会

万博は、未来社会の実験場。
万博でなければできない実験への参加と、
世界中に示すショーケースの活用を。

2025年大阪・関西万博

ワールドマスタースゲームズ関西（2022年）

東京オリンピック・パラリンピック（2021年）

ラグビーワールド杯（2019年）

2005年愛・地球博
テーマ「自然の叡智」

1970年大阪万博

1964年東京オリンピック・パラリンピック

万博を
世界・日本・地域・企業の
次の時代を
つくるきっかけに



- **内閣官房国際博覧会推進本部ホームページ**

2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（令和2年12月21日閣議決定）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/index.html

- **2025年日本国際博覧会協会ホームページ**

基本計画 <https://www.expo2025.or.jp/overview/masterplan/>

PR動画 <https://www.expo2025.or.jp/overview/movie/>

未来社会ショーケース事業（People's Living Lab）アイデア応募

<https://www.expo2025.or.jp/pll/proposal/>

「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創パートナー・共創チャレンジ募集

<https://team.expo2025.or.jp/ja/apply>

2025年大阪・関西万博の成功を！

